

町の魅力ポスターに

楽楽牧場で飼育されているヒツジと千沢園主の写真を撮影を行う三戸高校生



三戸高クリエイティブ部

三戸町の三戸高校（直町年行校長）で昨年度から1年生のカリキュラムに組み込まれた「クリエイティブ部」の授業が始まり、生徒たちが同町の魅力をPRす

1年生がテーマ設け写真撮影

るポスター作りに挑戦している。1年生28人が七つのグループに分かれ、プロクリエーターたちの指導を受けながら、町内各所を巡ってさまざまな素材写真の撮影やレイアウト作業などに取り組んでいる。（藤田幸雄）

ポスターは各グループ1枚ずつ、計7種類を制作予定で、夏ごろまでの完成を目指している。

佐藤怜文さんは「動くヒツジの撮影は難しかったが、とてもいい素材写真を撮れた」、大澤明佳さんは「三戸ラムを多くの人に知ってもらえるようなポスターを作りたい」と意気込みを語った。

このうち「三戸ラムを知ってけろ」というテーマを設定した4人のグループは、約40匹のヒツジが飼育されている同町蛇沼地区の楽楽牧場を訪問。八戸市のグラフィックデザイナー・佐々木亜希子さんのアドバイスを受けながら、千沢正知園主（63）がヒツジに餌を与えるシーンなどをカメラに収めた。

9～11日は、生徒たちがグループごとに町内の撮影スポットに繰り出し、それぞれのテーマに沿った素材写真を撮影。独創的なキャッチコピーをイメージしながら盛んにシャッターを切った。

県外から生徒を受け入れる「全国募集」導入校である同校では、2023年度にクリエイティブ部を新設し、コピーライティングやイラスト、デザインなど社会人になってからも役立つ情報発信の基礎を学んでいる。24年度からは部活動とは別に1年生のカリキュラムにも組み込まれた。